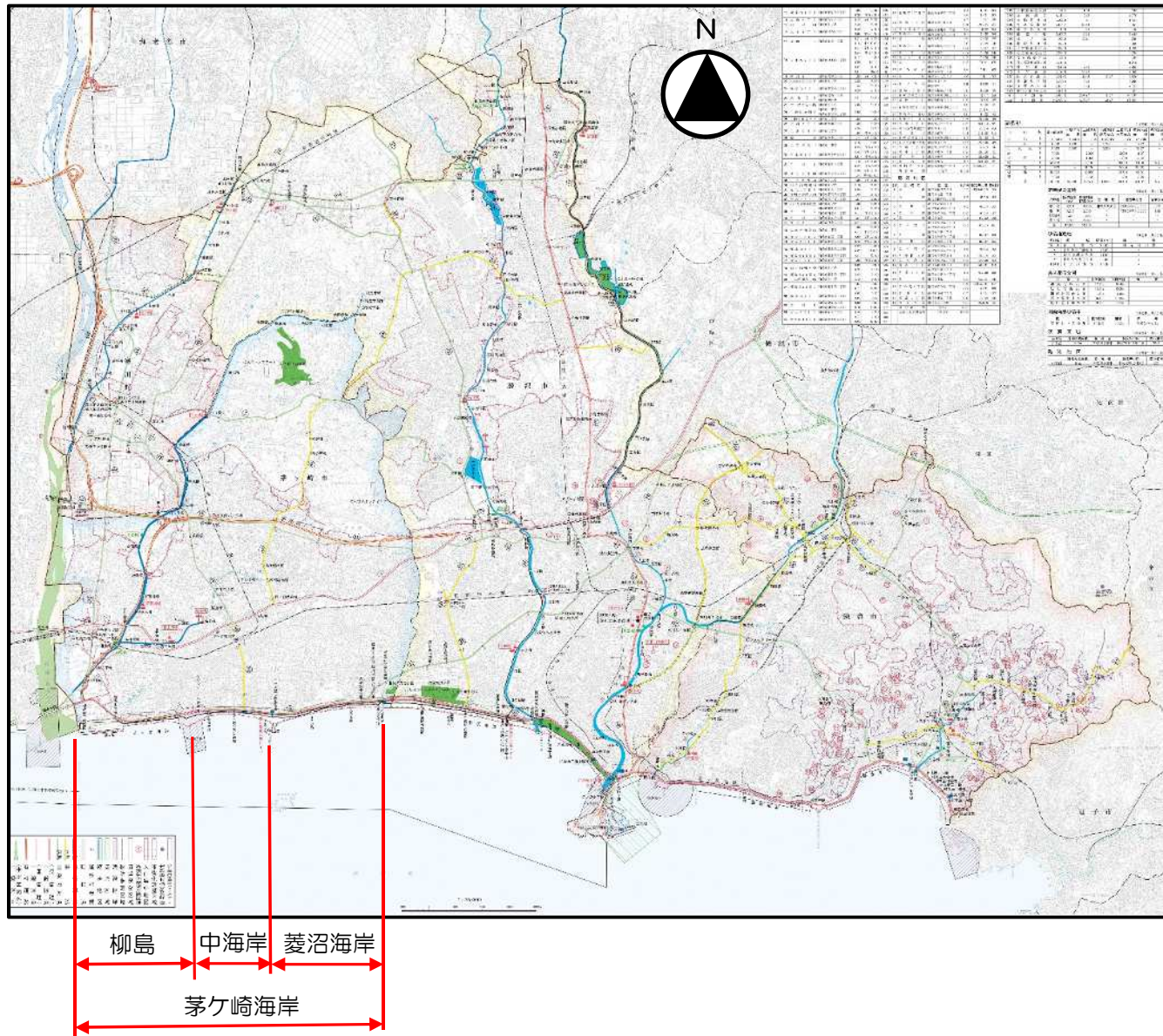


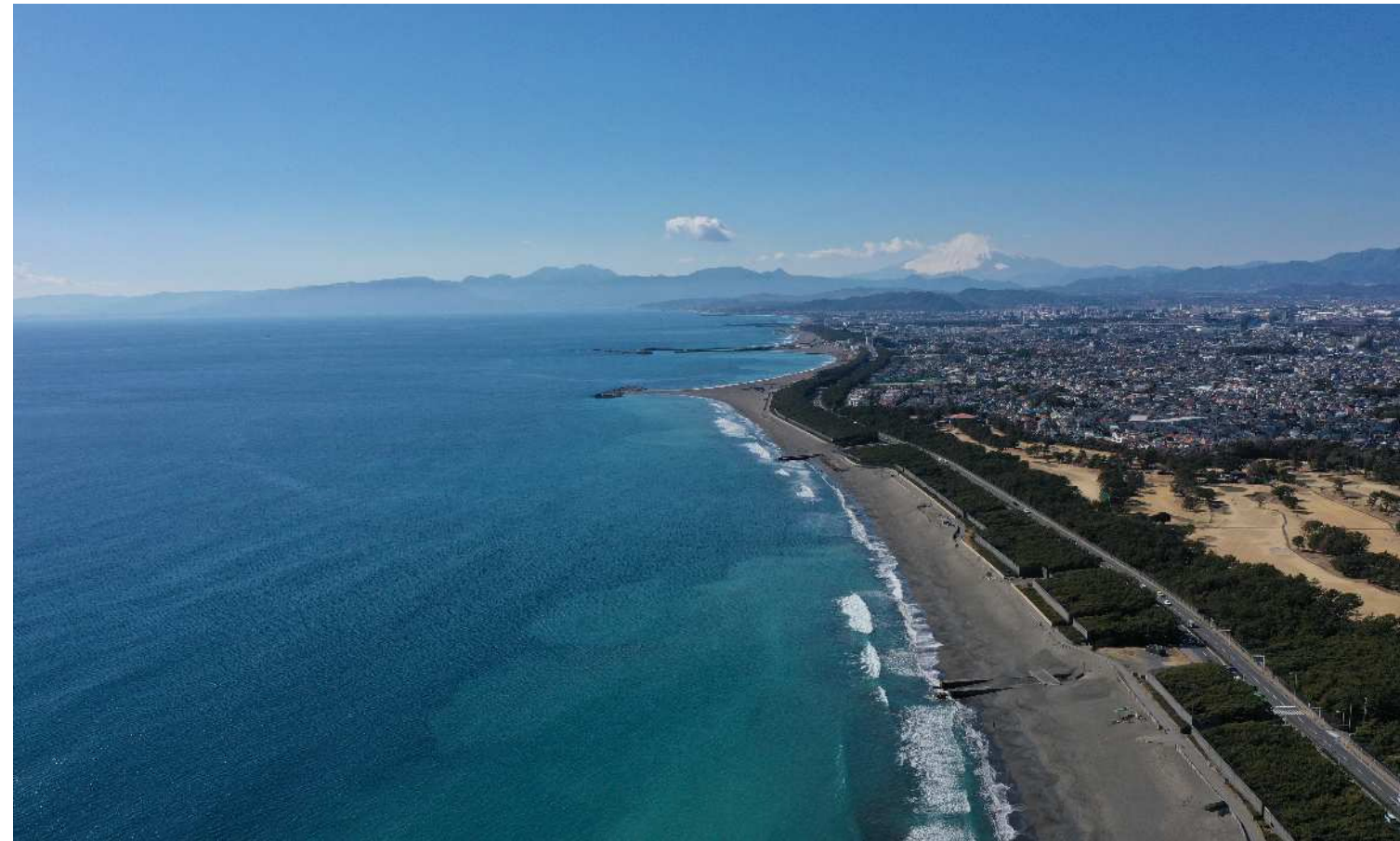
位置図



神奈川県

ちがさきかいがん 茅ヶ崎海岸

侵食対策事業



茅ヶ崎海岸 令和4年10月撮影

美しいなぎさの継承をめざして



神奈川県

藤沢土木事務所 なぎさ港湾課 (汐見台庁舎)
茅ヶ崎市汐見台 1-7 〒253-0033
TEL 0467(58)1473 (代表)

令和6年11月

藤沢土木事務所

事業の目的

茅ヶ崎海岸は相模川河口から藤沢市境に広がる長さ約6kmの砂浜海岸で、柳島地区、中海岸地区、菱沼海岸地区の3地区で、構成されています。

この砂浜は、相模川から供給された砂が、南側からの入射波により藤沢方面へと運ばれて形成されましたが、相模川でのダム建設や昭和30年代の大規模砂利採取により、海岸域への土砂供給量が減少した他、漁港や海岸構造物により砂の移動バランスが崩れた結果、1954年から2007年までの間で海岸侵食が進みました。そこで、砂浜の回復を図るため、相模川水系の土砂を活用した養浜や茅ヶ崎漁港西側の堆砂を利用したサンドバイパスに取り組んでいます。

このうち、侵食の著しかった中海岸地区では、平成18年度から令和3年度までに年平均約3万㎡の計画的な養浜を行い、ほぼ計画とおりの浜幅に回復しました。現在は、侵食の著しい菱沼海岸地区において計画的な養浜に取り組んでいます。



中海岸地区（養浜前）平成18年撮影



中海岸地区（養浜後）令和6年撮影

事業の概要

- 海岸名：茅ヶ崎海岸（ちがさきかいがん）
- 所在地：茅ヶ崎市柳島～汐見台
- 海岸延長：約6km
- 事業内容

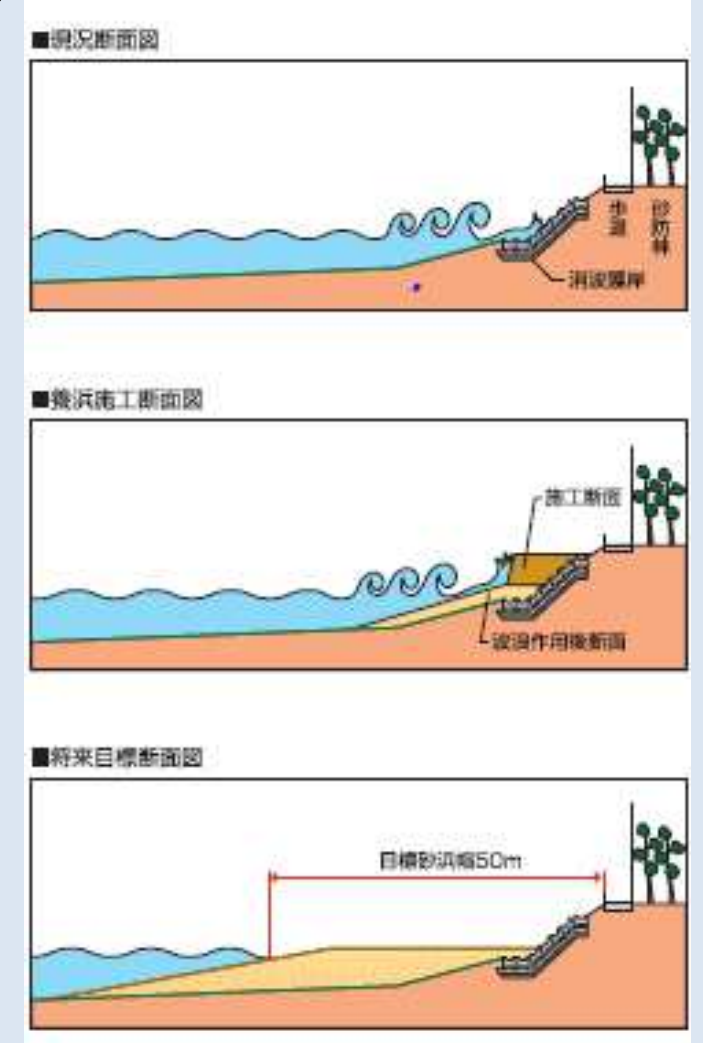
- ①柳島地区（相模川河口～茅ヶ崎漁港東側（茅ヶ崎漁港区域除く））
消波堤東側で5,000㎡年の相模川水系の土砂による養浜（維持養浜）
- ②中海岸地区（茅ヶ崎漁港東側～ヘッドランド西側（茅ヶ崎漁港区域除く））
10,000㎡年に相模川水系の土砂による養浜（維持養浜）
- ③菱沼海岸地区（ヘッドランド西側～藤沢市境）

平成30年10月の台風19号では砂浜背後の国道134号自転車歩行者道路が崩壊するなどの被害が生じました。この対策として、特に侵食の著しいヘッドランド東側から3号水路付近で、海岸や河口に堆積した土砂を運搬して砂浜に盛る計画的な養浜（計画養浜）を実施し、砂浜幅を広げることで、防護、環境、利用の調和の取れた砂浜の回復を図ります。

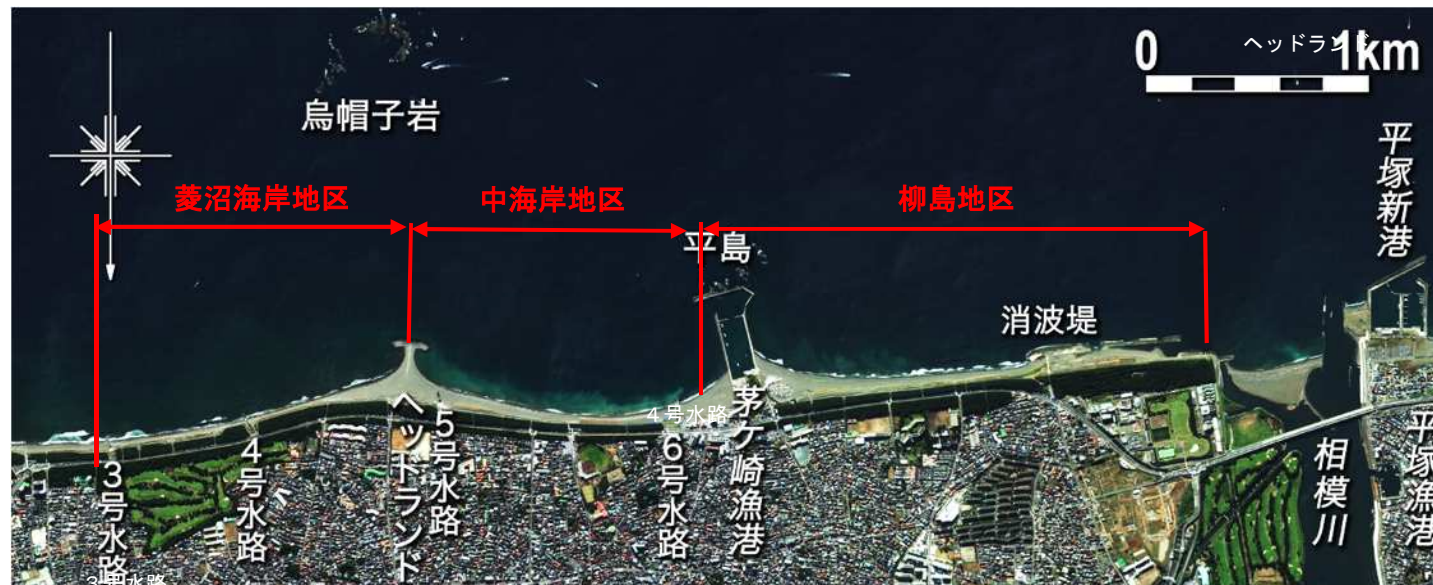


菱沼海岸 養浜材投入前状況

施工断面図



平面図



平成30年台風19号の被災の状況

